

緑地の変化

自然樹林ではウマノスズクサの個体数が増えている。花の結実は稀だが今年度は花付きが良い。



南通緑地ではチカラシバの種取り、播種の継続で個体数が増えている。(左2021年 右2023年)



オカトラノオは除草開始から2年経過してから植生を確認。ほか緑地でも同時期に確認しました。

